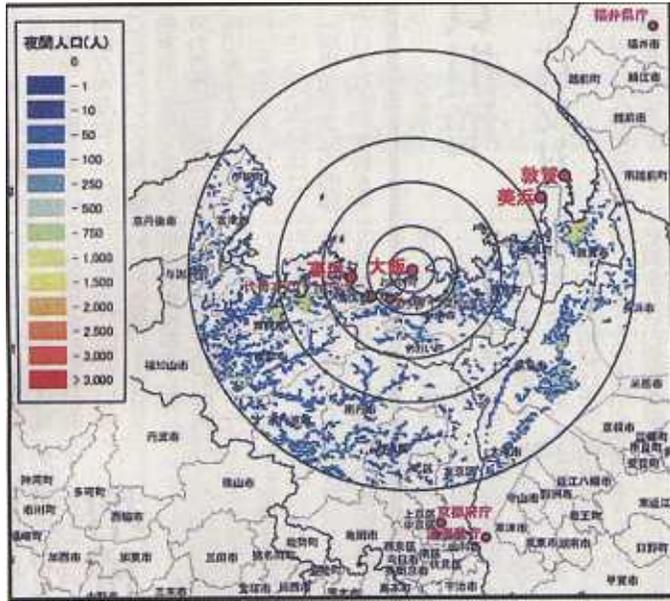


びわ湖と県民の命を危険にさらすな



原発 50 キロ圏内に人口1千万人。避難・防災対策ナシ。
大飯原発周辺の人口マップ。円の半径は、5キロ、10キロ、20キロ、30キロ、50キロ（原子力安全・保安院の資料をもとに作成） 「しんぶん赤旗」3月30日号より。

野田首相は5日、原発の再稼働を可能とする「暫定的な安全基準」を了承しました。「再稼働は政治判断で・・・大飯原発3、4号機の再稼働について、野田内閣は科学技術とは全く無縁で無謀な「安全基準」と「政治判断」によって滋賀県民の命と琵琶湖を原発の危険にさらそうとしています。原発の再稼働問題に関連した西澤議員の一般質問（3月8日）と志位和夫委員長の記事会見の一部を紹介します。

再稼働ありきは許せない

志位委員長が批判

日本共産党の志位和夫委員長は5日、記者会見で「福島原発事故の原因究明もできていないもとでどうやって『安全基準』が決められるのか」と批判。加えて、「暫定安全基準」を検討する主体は国民の信頼を完全に失った原子力安全・保安院だと指摘。「再稼働ありきで、『暫定安全基準』をつければ、なんとか後は無理押しできるだろう」という案直なやり方で原発の再稼働という問題を扱ってはならない」と主張しました。

北川町長、「再稼働反対」言及せず

西澤議員は、大飯原発の3号、4号機の再稼働が焦点になっているおり、甲良町もびわ湖圏域の構成自治体の1つとして首長が声を上げることが非常に大事だと、「反対あるいは異議あり」の態度表明を、と提起しました。

北川町長は、一キロワット当たりのコストでは原発が一番安いこと、電気料金が大幅に上がれば採算が取れなくなり、企業が廃業に追い込まれ

る可能性もあること、代替エネルギーによって原発をやめてもなおかつ原発に近いコストになるように努力を求めめるなど、あれこれと述べたうえで、「徐々に原発は廃止の方向で進めていくが、今すぐ、即刻すべてを中止、停止する」ということは非常に日本の全産業構造から言っても無理かな」との思いを語るにとどめ、「大飯原発の再稼働」の是非についての判断を表明しませんでした。

ストレステストは お手盛りテスト

西澤議員は、野田内閣が再稼働にやっきになってきている根拠としている「ストレステスト」の科学的裏づけがない理由を、東芝原子力プラン設計技師の近藤政志氏の指摘を引用し、次のように紹介。福島第一原発の検証結果も出ていない中、安全の実証は空論。メルトダウンした核燃料が今どこに、どのような状態であるかも不明。ストレステストの実施は電力会社が主体で、あの稼働やらせメールの原子力安全・保安院が妥当か否かの判断をする。お手盛り検査。格納容器が窒素で満たされた福島原発の沸騰水型とは違って、大飯原発は窒素が満たされていない加圧水型。保安院が審査した大きいから大丈夫という保安院の審査は全く根拠がない。そのうえで、「何よりも過酷事故が起きた場合、制御できる能力・技術も人間界では未完成だということが非常に大事だ」と強く指摘しました。

期限を決めた撤退こそ

「即刻すべてを中止」と私たちは主張していません。人類と共存できない原発依存からの「期限を決めた撤退」を提案。現状のままでも、産業界の電力需要のピーク時をずらすこと

によって、発電総量を減らし、原発に頼らず、再利用可能エネルギーに転換は可能（田中優氏）との専門家の研究も発表されています。

「不起訴」不当の審査申立へ

4月12日、玉木弁護士から官製談合の告発が不起訴となった（13日付け中日新聞で報道）との連絡がありました。不起訴処分となった場合、検察審査会に「審査申立」ができる制度になっており、有志が「申立」に向け準備する予定。

甲良民報

2012年4月8日 508号補強版
発行責任：日本共産党甲良町支部
Tel.Fax38-4949

日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。

くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

急カーブにガードレール設置

「これは危険！」と素早い対応

主要地方道彦根八日市
甲西線の呉竹側からセブン
イレブン尼子店前交差点に
向かう手前の急カーブにあ
る歩道に3月末、ガードレ
ールが設置され、これでひ
と安心」とよろこばれてい
ます。

3月初め、町民のAさん
から「急カーブを曲がり切
れず、車が歩道に突っ込ん
できた。これで3回目や。
歩道に人がいたら、それこ
そ命取りや。ガードレール
を付けてもらいたい」と要
望。Aさんと西澤議員はそ
れぞれ建設課に写真をそえ
て要請。湖東土木事務所の
現場調査のおり区長さんも
立ち会い。「これは危険」と
認識が一致したことから
町・県の素早い連携で、こ
のほど完成したものです。



固定資産税の取りまちがい 認めたら、全額返して

固定資産税の「徴収間違い」を
認め、徴収した全額の返還を求め
ているFさん親子がこのほど町に
要請文を送付。4月20日までに書
面による回答を求めています。

提出した要請文によると、昨年
10月、町税務課のまちがいを一部
認めただが、もともとFさん親子が
支払う義務のない固定資産税を、
税務課長が法律を無視して10年
近くも取り続けてきたことに対す
る「お詫び」がないと指摘。町が
「5年分しか返還しない」として
いること自体が法の解釈を誤って
いると主張。

町行政と課長を疑うことなく払
ってきたFさん親子の良心を踏み
にじる姿勢に怒りをつのらせてい
ます。Fさん親子から徴収したこ
とがまちがいであることを認める
証として、いさぎよく全額を返還
すべき、と強く要請しています。



お元気ですか

別れと出会いの季節

別れと新しい出会いの季節。中・小
保の卒業・園式に出席させてもらいま
した。中学校では青春まつ盛りを感じ
させる答辞を聴き、保育センターでは
まさに天真らんまんの笑顔に出会い、
そして小学校では一人ひとりの夢を語
ってくれました。そのうえ、校長先生
の話」が始まると突然ピアノで「世界
にひとつだけの花」のメロディーが流
れたのです。内心「えっ！校長先
生が歌うのかな？」と思いきや、歌詞
の一部を引用し、卒業生に手向けられ
ました。粋なはからいの中に教育者の
熱き思いの一端を垣間見る一幕でし
た。どの卒業式も見送る先生方も保
護者も、そして主人公の卒業生・園児
も喜び・感動・感謝の心がまっすぐ現
れていてこちら清々しい思いにひた
り、幸せなひとときでした。 いや、
「ひととき」にしてはならないと思う
今日この頃です。みなさんのウソのな
い姿とは無縁のように、政治のウソが
はびこり、ひどいものです。 ムダ使
いは聖域にしたまま消費税10%へ、
アメリカ言いなりでTPP参加へ、福
島原発事故の原因が不明なまま原発再
稼働へ、介護保険料の大幅値上げ・・・
政府・民主党の言い訳・理由に一片の
道理も根拠もなく、ウソで固められた
主張が並んでいます。 例を一つ、97
年の3%から5%の引上げで消費税収
入は5兆円増。しかし、税収は14兆円
も減り景気をどん底に落としこんだの
です。 財源はちゃんとあるじゃない
か！ 憲法違反の政党助成金300億
円、米軍の思いやり予算2000億円、
巨大企業（資本金10億円以上）の内
部留保金266兆円・・・ここに政治
の力でメスを入れなければ、今の日本
の経済も国民のくらしも、将来そのも
のが成り立たない。そんな憤慨の気持
ちがフツフツと湧いてくる別れと出会
いの季節でもあります。 みなさんはい
かがでしょうか？ (N)